

<2008—2009年度>

第1回
キャビネット会議
提出案件及び報告、答申書



2008年7月22日（火）

東京プリンスホテル プロビデンスホール

ライオンズクラブ国際協会

330-A地区

第1回キャビネット会議提出案件

委員会名 政策・会則・長期計画委員会

委員長 野崎 武

2008年度国際大会に於いて次の項目が改正されました。以下の通りである。

国際付則を下記の通り改正することにより、2009-2010年度及びそれ以降毎年行われる地区選挙において、第一及び第二副地区ガバナー職を公式に設置する。

加えて、国際付則第2条第6項を、3行目の“副地区ガバナー”を削除し、“第一及び第二副地区ガバナー”に差し替え、かつ15行目から16行目にある“副地区ガバナーの規定を加えなければならない、その職責”とある文言を削除し、“第一及び第二副地区ガバナーの規定を加えなければならない、各職責”に差し替えることにより改正する。

加えて、国際付則第2条第7項を、4行目の“副地区ガバナー”を削除し、“第一及び第二副地区ガバナー”に差し替えることにより改正する。

加えて、国際付則第3条第4(c)項を、“副地区ガバナー”の前に“第一”を加えることにより改正する。

加えて、国際付則第3条第4(d)項を、1行目と2行目にある“副地区ガバナー”の前に“第一”を加え、かつ4行目にある“副地区ガバナー”の前に、“第二”を加えることにより改正する。

加えて、国際付則第3条第9項の見出しを、“及び副地区ガバナー”を削除し、“第一及び第二副地区ガバナー”と差し替えることにより改正する。

加えて、国際付則第3条第9(b)項を、第9(b)項の全文を削除し、下記の文言と差し替えることにより改正する。

(b)第一副地区ガバナー。第一副地区ガバナー選挙は無記名投票で行われなければならない。第一副地区ガバナー候補者がその選挙で当選したと宣言されるには、出席して投票した代議員の過半数の賛成投票を得なければならない。過半数というのは、白紙及び棄権を除く有効な投票合計数の半分以上の数を意味する。第一副地区ガバナーの任期は一年で、当選した年の協会の大会閉会時に始まり、協会の次の大会閉会時に終了するものとし、どの第一副地区ガバナーも自身の後継者となることはできない。その他の手順等に関しては、その地区(単一、準及び複合)の会則及び付則の規定に従って行われるものとする。各第一副地区ガバナー選挙の結果については、その地区の現職地区ガバナー及び(又は)国際協会駐在員が国際本部に報告する。

第一副地区ガバナー候補者は、

- (1) 所属単一又は準地区内のグッドスタンディングの正ライオンズクラブのグッドスタンディングの正会員であり、
- (2) 所属クラブの推薦、あるいは所属単一又は準地区内過半数のクラブの推薦を受け、
- (3) 現在、所属地区の第二副地区ガバナーを務めている者でなければならない。
- (4) 現職の第二副地区ガバナーが第一副地区ガバナーに立候補しない場合にのみ、あるいは地区大会の際に第二副地区ガバナー職が空席である場合にのみ、本付則又は会則に定められている通りに第二副地区ガバナーの条件を満たしているクラブ会員は誰でも上記(3)項の条件を満たしているものとする。

加えて、国際付則第3条第9項を、下記の文言を新たな副項目(c)として加え、残る各副項目のアルファベットを適宜変更することにより改正する。

- (c) **第二副地区ガバナー**。第二副地区ガバナー選挙は無記名投票で行われなければならない、第二副地区ガバナー候補者がその選挙で当選したと宣言されるには、出席して投票した代議員の過半数の賛成投票を得なければならない。過半数というのは、白紙及び棄権を除く有効な投票合計数の半分以上の数を意味する。第二副地区ガバナーの任期は一年で、当選した年の協会の大会閉会時に始まり、協会の次の大会閉会時に終了するものとし、どの第二副地区ガバナーも自身の後継者となることはできない。その他の手順等に関しては、その地区（単一、準及び複合）の会則及び付則の規定に従って行われるものとする。各第二副地区ガバナー選挙の結果については、その地区の現職地区ガバナー及び（又は）国際協会駐在員が国際本部に報告する。

第二副地区ガバナー候補者は、

- (1) 所属単一又は準地区内のグッドスタンディングの正ライオンズクラブのグッドスタンディングの正会員であり、
- (2) 所属クラブの推薦、あるいは所属単一又は準地区内過半数のクラブの推薦を受け、
- (3) 第二副地区ガバナー就任の時点で、
 - (a) クラブ会長を全期又は過半の期間、そして理事会構成員として更に二年以上務め、かつ
 - (b) ゾーン・チェアパーソン又はリジョン・チェアパーソンあるいはキャビネット幹事及び（又は）会計として全期又は過半の期間務めた者でなければならない。
 - (c) 上記のいずれも、同時に達成させることはできない。

加えて、国際付則第3条第9(c)項（前述の通り第9(d)項に変更となる）を、項目の見出しにある“又は副地区ガバナー”を削除し、“第一又は第二副地区ガバナー”と差し替え、5行目にある“副地区ガバナー”の前に“第一”を加え、3行目にある“本項”に続く“(d)”を削除し、“(e)”と差し替え、さらに7行目にある“副地区ガバナー”の前に“第一又は第二”を加えることにより改正する。

加えて、国際付則第3条第9(d)項（前述の通り第9(e)項に変更となる）を、9行目にある“副地区ガバナー”を削除し、“第一及び第二副地区ガバナー”に差し替えることにより改正する。

加えて、国際付則第3条第10項を、1行目にある“又は”を削除し、“第一副地区ガバナー又は第二”に差し替えることにより改正する。

加えて、国際付則第6条第5(b)項を、見出しにある“副地区ガバナー”の前に“第一”を

加え、かつ1行目にある“副地区ガバナー”の前に“第一”を加えることにより改正する。

加えて、国際付則第6条第5(b)(5)項を、“副地区ガバナー必携及びその他指示に従い、国際理事会が要請する”との文言を削除し、“国際理事会による要請の他、諸指示に従い、”と差し替えることにより改正する。

加えて、国際付則第6条第5(b)(10)及び(11)項を、(10)及び(11)項の全文を削除し、下記の文言と差し替えることにより改正する。

(10)地区ガバナーの要請に従って、適切な地区委員会を監督し、地区内クラブの長所及び弱点の評価に関与する。

加えて、国際付則第6条第5項を、下記の文言を新たな副項目(c)として加え、残る各副項目のアルファベットを適宜変更することにより改正する。

(d) **第二副地区ガバナー**。第二副地区ガバナーは地区ガバナーの指導監督のもとにある。具体的な責任は次の通りである。

- (1) 本協会の目的を推進する。
- (2) 積極的に参加すると共に、地区内の他の役員に対し、効果的な会員増強及び新クラブ結成を監督し、推進するよう激励する。
- (3) 地区ガバナーから割当てられる、地区会員維持委員長への助力などを含む任務を果たす。
- (4) 本協会の方針に従って、その他任務を遂行する。
- (5) すべてのキャビネット会議に積極的に参加し、地区ガバナー及び第一副地区ガバナー不在の際には、すべての会議において議長を務める。
- (6) 地区予算作成に協力する。
- (7) 翌年度にも継続される事項のすべてに積極的に関与する。
- (8) 地区ガバナーの要請に従って、適切な地区委員会を監督し、地区内クラブの長所及び弱点の評価に関与する。

2008年7月1日

第1回キャビネット会議提出提案案件

2008～2009年 330-A 地区

会員指導力育成委員会

委員長 L 曾根原 良仁

当委員会は2008～2009年330-A地区、地区ガバナー石井征二Lより次の記載された委員会諮問事項を指示されました。それを受けて下記の委員会運営方針を提案致します。

記

1) 2008～年2009委員会諮問事項

- ① 第91回国際大会にて決議された事項・国際会長方針に則した施策
- ② 330複合地区・330-A地区第54回年次大会決議事項の施策
- ③ 2008～2009年330-A地区ガバナー方針に基づく政策の答申及び伝達
- ④ 330-A地区内各クラブ会長・幹事・会計及び執行部の指導力向上
- ⑤ 衰退化しているライオンズクラブを再生可能な方法の研究と解決策
- ⑥ 各ライオンズクラブ、会員委員会委員長（会員理事）の指導力向上
- ⑦ 出身クラブに於ける地区役員・委員の指導力の向上
- ⑧ 各クラブに於けるキャビネットに対する認識の向上

会員増強 全委員会に会員増強に関しての具体的な協力をお願い致します。

その他必要に応じて諮問させていただきます。

2) 提出提案案件

- ① 委員会方針
会員指導力育成マニュアルの作成
新三役・新入会員 セミナーの実施
(註 日時・目的・場所・実施規模等未定)
- ② 会員指導力育成プログラムを政策・会則長期計画委員会と協力して行う
- ③ 年間計画を検討し
会員向け・三役向け・新入会員向けマニュアル作成
- ④ 今期実施の会長会や各クラブ向け等のワークショップの検討

以上諮問事項に沿った委員会活動を実施致しますので、ご協力をお願い致します。

第 1 回キャビネット会議提出案件

役職名 P R 情報委員会

第 1 3 R 第 1 Z 東京小金井 L C

L 名 梶原正和

案件 1

1. 必要とされ、読まれさらに会員拡大につながるニュース誌づくりをテーマに。

①氏名付きで地区メンバーを出来るだけ多く登場させる。

- ・アクティビター活動の写真に必ず氏名を入れる。
- ・最年長ライオンや若手ライオンを紹介する企画ページを設ける。

②330-A地区の全クラブを何らかの形で必ず1回は紹介するようにする。

- ・「このアクティビターは見逃せない」などユニークなクラブの紹介など。
- ・クラブ会長を写真付きクラブスローガン付きで紹介、登場させる。

③本の体裁を斬新で読みやすい内容に変える。

- ・表紙のデザインを専門家に依頼し、斬新なイメージづくりをする。

2. 地区ニュースの発行回数と発行時期および号別の内容、発行部数。

①キャビネットおよび会員の活動を掲載し、会員増強に役立つものに。

②地区ニュースは、4回発行し、11月8日のライオンズデーは特集号を発行する。

③地区ニュース発行予定日および号別テーマ、作業予定。

号	テ	マ	発行日	期 間	入校期
第 1 号	会員増強号とライオンズデー参加の啓蒙		9/20	2 ヶ月	8 月末
第 2 号			2/20	3 ヶ月	1 月末
第 3 号			4/20	2 ヶ月	3 月末
第 4 号			6/10	2 ヶ月	5 月末
特別号	ライオンズデーの活動を A 2 で広報する		11/30	11/8	11/15

④各号の発行部数

- ・10,000 部 (6,000 部会員用/4,000 部会員増強用)

⑤掲載用の記事の提供を待つだけでなく積極的に取材に出向く。

- ・諮問委員会の資料、その他を参考にクラブの活動を把握する。
- ・継続的に掲載するものと目玉となるような話題を大きく掲載する。
- ・災害発生時は、委員会が取材し全会員に報告。取材費は、必要経費を予算化。

⑥その他

- ・記事の見出しや表現方法などを工夫し、明るく見やすいものに。
- ・ガバナーおよびキャビネットの方針がよく伝わるように配慮する。

3. 予算および広告料、広告収入見込み

①年間予算 5,650,000 円 (内 3,000,000 円は委員会予算)

- ・表紙デザイン料 100,000 円
- ・表紙作成費 200,000 円 (50,000×4 回)
- ・地区ニュース制作費 4,000,000 円 (1,000,000 円×4 号)
- ・特別号 400,000 円 (企画、デザイン、印刷費を含む)
- ・取材費 300,000 円 (内規を作り管理)
- ・梱包、発送費 650,000 円 (130,000×5 回)

※制作費には、企画、制作、印刷費などの経費を含む。

※印刷費については3社くらいから見積もりをとり、年間単位で依頼する。

②広告料および収入見込み、対象団体

- ・広告料および広告収入見込み(下表は案)

ページ	4 回	3 回	2 回	1 回	備考
表 2			500,000	300,000	掲載可能回数 2 回
表 3	500,000	400,000	280,000	150,000	
表 4	600,000	500,000	350,000	200,000	
記事 1 P	400,000	300,000	200,000	120,000	
記事 1/2P	200,000	160,000	120,000	60,000	
記事 小	100,000	80,000	50,000	30,000	1 コマ 6 cm×12 cm

③広告収入見込み(上記金額の場合)

A) 2,700,000 円(100%) B) 2,160,000 円(80%) C) 1,620,000 円(60%)

④広告募集対象団体

- ・ライオンズクラブ会員の企業広告(予定企業のリストアップ)
- ・会員外企業の広告(会員増強用に増刷するので広告効果がある。同上)

⑤広告募集の方法および期間

- ・キャビネット役員およびリジョン、ゾーン、クラブ役員を対象に広報。
- ・7月から8月末までに募集。(募集要項の作成)

4. 委員会運営に関する事項

- ①1人1人が、能力を発揮し活躍できるようにする
- ②グループ分けをし、グループごとにページを担当する。
- ③編集後記に委員会メンバーの写真を掲載する
- ④来々となるような委員会活動と来なければならないような委員会づくり

5. その他

- ①予算を有効に生かし委員会にやり甲斐を、会員には楽しく必要なものを提供。
- ②第1号は、今までと違うインパクトのある画期的なものに
- ③内容的には、会員の関心を引き、奉仕活動に役立ち、活力を生むようなものに。

以 上

第1回キャビネット会議 提案事項

平成20年7月22日（火）

IT委員長：L星野宏一

提案事項：

1) ITセミナーの開催

趣旨：各クラブ・地区キャビネットにおいての情報伝達・運営合理化の推進のため、各レベルにおいてさらに多くのメンバーがITのスキルを身につける機会を設けたいと考えます。

内容：

- ① サバンナ（月次報告）特に新機能の委員会出欠管理について
- ② メールを送受信・文書作成・エクセル・画像の加工・メール添付
- ③ 各クラブの運営・奉仕活動の推進に役立つクラブホームページの立上げ

対象者：

- A) キャビネット幹事団・・・7月1日（火）実施済み
- B) 各委員会の出欠管理担当者・・・幹事団定例会に提案して具体化
- C) RC・ZC・・・幹事団定例会に提案して具体化
- D) 各クラブ会長・幹事・IT委員・事務局担当者
・・・7月18日（金）実施済み

2) サバンナによる各種会議・会合・イベントの出欠管理について

・・・今期7月よりスタートしますのでサバンナを通じての出欠返信にご協力をお願いします。

3) キャビネット会議・年次大会のIT化促進

・・・プロジェクター利用による会議進行のための準備・サポートをします。

4) 地区キャビネットホームページの運営・更新・分担について

・・・第1回委員会にて役割分担を決定し、地区キャビネットの決定事項・連絡事項・各種情報、それから各クラブよりのアクティビティ情報などを随時掲載・更新していきます。地区ライオンズメンバーが等しく情報を共有するための情報源として活用下さい。

5) キャビネット運営事務のIT化促進・・・キャビネット事務局・幹事団・

各委員会・各クラブのIT活用のサポートをします。

第1回キャビネット会議提出案件

LCIF 委員会

委員長 L大石 誠

案件1

20 \$ /メンバーをライオンズクラブ国際財団 (LCIF) へ献金、について

LCIF は LC 国際協会の人道事業に資金を提供してサポートしています。大規模な人道事業を行うライオンズの地区 (クラブ) に交付金として提供されます。

2006 年～2007 年度、US \$ 5,440 万の献金が寄せられ、下記の通り US \$ 3,550 万の交付金を拠出しました。

<u>交付金の内訳</u>	<u>US \$ 万単位</u>	<u>件数</u>
緊急及び大災害援助金	166	160
国際援助交付金	67	47
視力ファースト交付金	1,759	71
一般援助交付金	879	181
四大交付金	180	37
その他の交付金	483	

又 LCIF は世界最高の NGO として評価されました。

「フィナンシャル・タイムズ」(2007 年 7 月) が発表した、国連グローバルコンパクトと協力して実施した調査の中で、LCIF は第 1 位に選ばれました。プログラムの遂行及び適用性、説明責任の履行、情報伝達、支援企業の目的の理解に関して、LCIF は高い評価を獲得しています。

一人の人では少しのことしか出来ないけれど、人が力を合わせれば多くのことが出来、又社会的にも高い評価を得ることが出来ます。クラブ並びにメンバー各位のご理解とご支援をお願い申し上げます。

330－A地区

ガバナー石井征二様

答 申 書

平成 20 年 6 月 30 日
社会障害者福祉委員会
委員長 L 見 津 康

諮問事項

- 1) 第 91 回国際大会にて決議された事項・国際会長方針に則した施策
- 2) 330 複合地区・330－A地区第 54 回年次大会決議事項の施策
- 3) 2008－2009 年 330－A地区ガバナー方針に基づく政策の答申及び伝達
- 4) 社会福祉・障害者福祉のアクティビティを研究し各クラブに提示指導
- 5) 11 月 8 日 330－A地区奉仕の日に於ける社会福祉・障害者福祉奉仕活動を各クラブに推進
- 6) 障害者を対象とするアクティビティの推進
- 7) NPO・NGO活動を研究し、必要とあれば、援助の可能性を検討
- 8) LCIF 交付金の効果的利用を各クラブに指導推進

答申内容

- 1) a. 国際大会決議は 6 月 27 日代議員投票に依り決定される。大会終了後、決議内容について改めて確認し検討する。
b. アルバードブランデル次期国際会長のテーマは「アラート」（警告）アラートのプログラム使命はライオンズに標準化された構造及びネットワークをもたらし、緊急事態にある人々に必要なサービスを提供すると述べております。特に近年各地で大災害が頻発しており、最も重要な課題であると思われます。
全日本レベルで災害等の緊急事態に対して、ライオンズとしての対応、組織の構築、迅速なネットワーク、各種ボランティアの人材登録、NPO,NGO、日赤等の団体との連携を含め早急に検討しなければならない課題であります。
全日本レベルの問題として、8 複合地区議長連絡会で「アラート」について、真剣な議論が必要であると考えます。
- 2) A1 複合地区の大会決議は、総会決議として L 福井正憲（335－C 地区）を 2009～2010 年度国際第 2 副会長として推選する。
A2 分科会決議
日本ライオンズ連絡事務所費を会員一人当り 1 ヶ月 30 円を 20 円、年間 240 円とし、組織の合理化を 8 複合地区議長連絡会にその検討を開始要請する事を決議する。
8 複合地区レベルの問題、準地区、複合地区で決議する問題ではない。

A3 国際会則第8条第2項(1)(2)に規定された家族会員のガバナー協議会に納入する会費についての件であり、330-A地区としては主旨を各クラブ、各メンバーに通知し、家族会員の増強に繋げたい。

B 330-A 地区年次大会決議

総会決議

地区ガバナー・副地区ガバナー選出の件

分科会決議についても、内規の一部改正修正及び家族会員の地区費、クラブ費、メンバーの地区費、地区特別運営費、地区大会費、地区特別大会費、会計報告、地区アクティビティ・スローガン等の決議であり、諮問内容ではない。

- 3) 地区運営基本方針に基づき、障害者福祉委員会に関わる方針について優先検討する。各クラブ、各ゾーン、各リジョンの理解と協力を得るよう検討したい。
- 4) 各クラブの障害者福祉に関するACT活動をアンケート等により実態調査し、又社会福祉協議会の組織表を作成し、参考資料として各クラブに配布する。
- 5) 11月8日330-A地区奉仕の日に行なうイベントを早急に決定する事が重要。
但し、社会障害者福祉委員会としては五月末日の土・日曜日に開催される障害者スポーツ大会に全力を傾けたい。2日間で2000名のメンバーの動員を図りたいと考えております。11月8日は高齢者を対象に一本化した方が計画も立て易いと思う。高齢者と障害者の環境の違うイベントの同時開催は終止がつかない状態になる恐れがあります。
- 6) 毎年5月末の土、日に東京都駒沢オリンピック公園総合運動場に於いて開催されている東京都障害者スポーツ大会、来年は第10回の記念大会。主催は社団法人 東京都障害者スポーツ協会、330-A地区は特別協賛団体として第1回大会より参加。当委員会はA地区の事業として改めて見直し、全クラブ例会振替をお願いし、障害者の方々に心からの声援を送りたいと考えております。
平成21年5月30日(土曜日)31日(日曜日)に併せて2000名からのメンバーが駒沢運動公園に集結し、感動を与え与えられ、感動の分かち合いを肌で実感し、ライオニズムの高揚に繋げたいと考えております。
- 7) ライオンズの奉仕活動もNPO・NGOとの協力を考え、グローバルな視野で取り組む事がこれから最も重要な課題である。既にNPO,NGOとの協力に依り、ACTを行なっているクラブの実態を調査し、各クラブに資料を提供する。
- 8) 各クラブの障害者福祉に関する実態を把握し、LCIF交付金利用により、より効果的なACTとなるのか検討し、各クラブに発信出来る様努力していきたい。

第1回キャビネット会議提出案件

委員会名 薬物乱用防止委員会

委員長 L三輪正雄

<はじめに>

インターネットの急速な普及とともに中には有害な情報も多くその一つは薬物乱用に関する誘惑情報の氾濫であります。麻薬覚せい剤等の乱用は自分の精神や体を破壊するだけでなく、まわりの人達を巻き込んでしまう恐ろしい薬物であることを深刻に受け止め「誘惑情報や友人の影響を非常に受けやすい未成熟な子供たち」に対して薬物の危険から身を守るよう指導教育することは大人の責任であります。

<基本方針>

- ① 全クラブに5名以上の薬物乱用防止教育認定講師が所属するよう認定講師の養成を図る
- ② 全クラブが地域の小中高校に薬物乱用防止教室を1回以上行うように推奨しその実行を支援する
- ③ 既に資格を有する認定講師の活性化と技術の向上を図る

このプログラムはライオンズクラブと（財）麻薬覚せい剤乱用防止センターとの共同で設立運用しており内閣府薬物対策本部、厚生労働省、警察庁、文部科学省が後援している奉仕活動であります

<具体策>

- ① 会長幹事担当委員長セミナー

2008年9月12日（金）PM2:00～5:00 日本赤十字社辰巳ビル5F

各LCの理解を深めて新規の認定講師の募集を行う

	認定講師	10名以上	8クラブ
2008年5月現在	〃	5～9名	38クラブ
330-A 205LC	〃	2～4名	62クラブ
	〃	1名	38クラブ
	〃	0名	59クラブ

② 薬物乱用防止教育認定講師の新規及び更新の養成講座の開催

10月中旬 PM1:00～5:00

憲政会館開催予定

12月5日(金) PM2:00～5:00 補講

日本赤十字社辰巳ビル5F

今期の更新対象者は380名であり同時に補講で資格喪失者防止に務め、新規募集で認定講師の増員を図りたい

③ 11月8日330-A地区奉仕の日に於ける薬物乱用防止活動を各クラブに推進

1. 啓発資料 タスキ、横断幕の斡旋

(財)麻薬覚せい剤乱用防止センター・ポスター・DVD下敷読本他

2. 薬物乱用防止の国連支援募金箱とポスターを各クラブに配布

④ 地域密着の奉仕活動を活性化し会員増強に寄与する

都内中学校区立398校都下223校に薬物乱用防止教室の講習内容のチラシやポスターを作成し啓発資料等を配布しPRを行い一層の普及を図る

⑤ レベルアップセミナーの開催

講習のできる認定講師を育成するためのスキルアップを図る

A. 小中高校対象の模擬講演の実演

B. 私の体験発表(人前で話す練習)

C. 小中学校へのアプローチの仕方

D. パネルディスカッション

⑥ ゴールド認定講師制度の導入の検討

薬物乱用防止の講習会を年間3回以上実施した高スキルの講師を委員会で調査と推薦をしガバナーと(財)麻薬覚せい剤乱用防止センターから承認された講師をゴールド認定講師として更新を免除し相互の研鑽を高め迅速な支援体制を強化する

⑦ 東京都主催の薬物専門認定講座への参加と都教育庁及び教育委員会との新たな連携を確立し薬物乱用防止教育の普及拡大を図る

第1回キャビネット会議委員長報告書

委員会名；ライオンズカード推進委員会

委員長； L 脇 村 孝 友

第 2 R ・ 第 3 Z 東京晴海 LC

報告事項

(説明) 三井住友カード株式会社担当者の古谷勝美氏と平成20年7月3日の午前10時に会談することが決まっています。

ライオンズカード担当者の古谷勝美氏と会談後、ライオンズカード推進委員会を開催して、委員各位の意見を聞いて今後の方針を決め、委員会を進めて行く予定です。

今後の方針が決定すれば、7月29日～8月5日の間に3回に分けて開催される会長会に出席させて頂き、ライオンズカードの説明を行い、330-A地区のメンバーに普及をしたいと思います。

第 1 回 キャビネット会議 提出 案 件

委員会名：環境保全委員会

委員長：L, 風間 昭

第 3R ・第 1 Z 東京新橋LC

案件 第2回 環境リーダー養成ステップアップセミナー開催について

6月18日 第4回キャビネット会議にて、諒承されましたが
改めて今期第1回キャビネット会議に提出いたしますので、ご承認ください

国立オリンピック記念青少年センター国際会議室

10月23日(木) 開催 PM 1:30 ～2:00 受付 PM2:00～5:00 セミナー

参加人数 100名を予定

前回の案内、申込書、収支報告書を参考資料として添付

ライオンズクラブ国際協会330-A地区
ガバナー 飯田 善彦



キャビネット事務局 〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-10-17 新宿ダイカンプラザB館2階
TEL.03-5330-3330

2007 年 9 月 13 日

ライオンズクラブ国際協会 330-A地区
各クラブ会長・幹事 様

会長資料

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区
ガバナー L飯田 善彦
環境保全委員会
委員長 L風間 昭

環境リーダー養成 ステップアップセミナー

参加のご案内

環境保全活動は、国際協会ならびに 330-A地区の最重要課題の一つとして位置づけられました。環境問題に対する知見の重要性と、ライオンズクラブの環境リーダーの緊急的養成が求められています。

この課題に応えるべく 環境リーダー養成ステップアップセミナーを新たに企画しました。必見のテーマです。過去に環境リーダー養成講座に参加されたメンバーをはじめ、是非大勢のメンバーのご参加をお願い申し上げます

記

1. 開催日時 2007 年 11 月 14 日 (水) 受付 午後 1 時 30 分より 2 時まで
セミナー 午後 2 時より午後 5 時まで
2. 開催場所 国立オリンピック記念青少年総合センター
国際交流棟 1 階 国際会議室
TEL:03-3467-7201(代表)
3. 登録料 3, 0 0 0 円
4. セミナー 第1部 環境保全委員会からの発言
第2部 必見!!… “不都合な真実” DVD 映写
(昨年度アカデミー賞ドキュメンタリー部門受賞作品
アメリカ元副大統領 アル・ゴア氏)

以上

*別紙申込書に記入の上、キャビネット事務局宛 F A X 又はメールにてお申込下さい。

MA I L : cab@lions330-a.org

F A X : 0 3 - 5 3 3 0 - 3 3 7 0

*締切 10月31日 (水)

参考資料 2

環境リーダー養成 ステップアップセミナー

参加申込書

2007年11月14日(水) 開催

330-A地区 環境保全委員会主催環境リーダー養成ステップアップセミナー

第 R 第 Z

東京 LC

L名	クラブ役職	キャビネット役職
L		
L		
L		
L		
L		

*申込書に記入の上、キャビネット事務局宛FAX又はメールにてお申込下さい。

MAIL: cab@lions330-a.org

FAX: 03-5330-3370

*締切 10月31日(水)

(参考資料) 3

環境リーダー養成講座 収支報告書

日時：2007年11月14日（水）

場所：国立オリンピック記念青少年センター

予 算	収 支	対 比
収入の部		
登録料 3,000 円×80 名 240,000	98 名 294,000	+54,000
ドネーション 0	風間委員長 5,915	+ 5,915
合 計 240,000	299,915	+59,915
支出の部		
1. 会場費 憲政会館 40,000	オリンピック 青少年センター 47,600	+ 7,600
2. 資料代 「不都合な真実」 ①教本 1,200×80 冊×90% 86,400	120 冊 136,080	+49,680
②DVDレンタル料 100,000	105,000	+ 5,000
3. ドリンク 85 円×100 本 8,500 消費税 425	10,710	+ 1,785
4. 予備費 4,675	教本代 振込み料 525	- 4,150
合 計 240,000	299,915	+59,915

以上の通り報告いたします。

2007年12月7日

2007-2008 環境保全委員会

委員長

風間 和

第 1 回 キャビネット会議委員長報告書

委員会名：環境保全委員会

委員長：L, 風間 昭

第 3R ・第 1 Z 東京新橋LC

報告事項

① 08'6月20日 第12回最終委員会 於:芝浦「牡丹」Pm6:30～9:00

(イ) 330複合地区ガバナー協議会 第3回 全体会議報告

(ロ) 第4回 キャビネット会議報告

(ハ) 第4回 環境リーダー養成講座 収支報告及びキャビネット提出

(ニ) 各クラブの環境保全活動の報告 並びに 環境講師リスト完成

次期3役セミナーにて各クラブ宛 1部 欠席クラブ 後日 1部送付

(ホ) 次期委員会について

① 委員会構成 ② 引継ぎ事項 ③検討事項

(ヘ) 第2回 ステップアップセミナーについて 10月23日開催検討

② 08' /7～09' /6度 環境保全委員会

第 1 回 委員会 於: キャビネット事務局 Pm4:00～6:00

(イ) 引継ぎ事項

(ロ) 委員会 小委員会構成について

(ハ) 第2回 環境リーダー養成ステップアップセミナー 10月23日について

(ニ) 330-A地区 統一奉仕デー 11月8日について

(ホ) ガバナー公式訪問事前懇談会及びガバナー諮問委員会 P R 分担

第1回キャビネット会議提出案件

ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区

ガバナー L 石井征二 様

役職名 330-A 地区 YE 委員会 委員長

第 12R・第 1Z 東京吉祥寺 LC

L 中嶋文夫

案件 2008～2009 年度 YE 協賛金拠出のお願い

ライオンズクラブ国際協会における青少年育成プログラムとして、長年の歴史と実績をもつ YE プログラムを、本年ライオンズクラブならではのプログラムとして再認識しつつ、本年度、以下の事に重点を置き、推進してまいります。

- ① YE 派遣生について 昨年度派遣生数(春期 5 名、夏期 8 名)330-A 地区
 - ・ あしなが育英会等(病気や災害そして交通事故などで親を亡くした家庭など、資金的ハンディキャップを持つ高校生、大学生)を物心両面で支える派遣。
 - ・ 上記派遣生を含む、特に夏の派遣生オリエンテーション(2 月～6 月)の英語力のみならず、ライオンズ YE 国際親善大使としての認識、そしてマナー教育の充実(ガバナー諮問事項 8)
- ② YE 来日生及びホスト家族について 昨年度来日生(冬期 6 名春期 8 名夏期 9 名)330-A 地区
 - ・ YE 生受け入れクラブメンバーの募集を効果的に(ガバナー諮問事項 6)とある様に、画一的なメンバーのみの受け入れ及びキャビネット YE 委員会のメンバーでの受け入れでなく、より多くのクラブ・ゾーンへの諮問委員会などを通して、YE 活動の必要性を各クラブに周知徹底。(ガバナー諮問事項 4)
- ③ YE キャンプ活動の充実(ガバナー諮問事項 7)、特に海外ライオンズクラブでは、キャンプの充実及び期間が長い、本年度 330-A 地区 YE 委員会が 2009 年度 7 月夏のサマーキャンプを担当する事により、YE 委員会のみならず、各クラブ・ゾーンの積極的な参加(例えば、14 クラブが 1 日ずつ担当して頂ければ 2 週間のキャンプが行える)を促す。

そして予算は、今期 2009 年サマーキャンプ(330-A 地区担当)及び、2006 年度より YE 委員会が担当しております「英語スピーチコンテスト」の予算も計上しております。

本年も、「クラブアクティビティー」としての YE 事業を、YE 委員会のメンバー 1 人 1 人が黒子となり後押しし、青少年育成の為に頑張りますのでこのような YE 委員会に対してご理解を賜り、事業を遂行するための資金として、各クラブ 1 メンバー当たり 1,000 円以上のご協賛金の拠出をして頂けますようお願い致します。

以上

2008－2009 年度 YE 委員会活動予定

2008年	9 月	第 45 期 YES クラブ結成 各クラブ YE 委員会
	10 月	冬期 春期 夏期 YE 派遣生及び来日生ホスト家庭の依頼
	11 月	YE 派遣生選考テスト 冬期来日生ホスト家庭依頼
	12 月	冬期 YE 派遣生、来日生送迎 ウェルカムパーティー
2009年	1 月	冬期 YE 派遣生、来日生帰国送迎
	2 月	夏期派遣生オリエンテーション開始(6 月まで)
	3～4 月	春期派遣、来日生送迎 来日生ホスト ウェルカムパーティー
	5～6 月	夏期派遣のための各種準備 来日生ホスト家庭依頼 決定
	6 月	英語スピーチコンテスト
	7～8 月	夏期派遣生 来日生送迎 サマーキャンプの開催 派遣、来日生帰国送迎
	9 月	帰国報告会

2008～2009 年度 YE 委員会予算案

収入	各クラブ 1 メンバー 1,000 円		5,400,000 円
		計	5,400,000 円

支出	派遣生関係費		
	YES クラブ総会費		100,000 円
	派遣生費用		200,000 円
	オリエンテーション関係費		600,000 円
	壮行会費		100,000 円
	帰国報告会費		100,000 円
	その他		400,000 円
		計	1,500,000 円
	来日生関係費		
	冬期・春期ウェルカムパーティー		100,000 円
	春期キャンプ		200,000 円
	夏期コースキャンプ		1,500,000 円
	ホスト家庭オリエンテーション		100,000 円
		計	1,900,000 円
	その他		
	MD 共通経費		250,000 円
	英語スピーチコンテスト		500,000 円
	YE レポート 委員会活動費 事務諸経費		1,000,000 円
	予備費		250,000 円
		計	2,000,000 円
		総 計	5,400,000 円

第1回キャビネット会議提出案件

役職名 地区活性化推進委員会

委員長 L. 向 徹男

地区活性化委員会は、石井征二地区ガバナーの330-A地区のクラブが共有する課題事項に真正面から取り組み、クラブ及び地区の再生（リセット）を期待されての委員会設置と受け止め委員会は創造性とダイナミックを両輪に各種委員会に蘇生を提案致したいと考えています。

1. 提案事項

会員委員会と連携しての会員増強に次の件を協議下さい。

① 新入会員への特典・・・地区会費の一年間の免除

理由 新入会員は各クラブの際に要する入会の入会金・年会費（半期）等の経済的負担は多く、現在の社会情勢では新入会員獲得の障害になっていると考えます。

2. 提案事項

エクステンション委員会と連携して次の2点を協議下さい。

① 会員数15人以下の少数会員クラブの合併推進

理由 クラブの独自性を生かして存続するには、今勇気ある決断が必要と考えます。330A地区の結成NOは217クラブ、現存は205クラブで、自然現象に甘んじることなく推進することがクラブ及び地区の蘇生になるものと考えます。

* 前提条件・・・合併を前提とした合同例会の開催

② 330-A地区オール東京シニアクラブの結成

理由 各クラブには、長年に亘りクラブに在籍しリーダーシップを発揮された先達ライオンが居られます。然し乍ら在籍会員の年齢層のギャップで、例会等でのコミュニケーションが計れないのが現状です。先達ライオンの輝かしい足跡をグットオールディとして共有出来る会費の安いオール東京のシニアクラブを結成し、スローライフを愉しんで戴きたく思います。

* 長らく在籍したクラブには名誉会員として名を留めることが大切。

3. 提案事項

クラブ活性化に次ぎの3点について協議をお願いします。

① ガバナーズアワード申請発表会開催

理由 申請と受賞に緊張感が湧き、ワンイヤーを担当する各クラブの執行部に活性化を促進できるものと思います。

② 地区役員クラブ選出承認廃止（フィルドフェンスの撤廃）

理由 ガバナーの任命事項であり、各クラブの運営に障害がない限り、地区運営に協力するものが本来の姿だと思います。

人材育成・人材発掘に信頼の二文字で理解し合えることがクラブの活性化になると考えます。

③ クラブ転籍は秩序を

理由 過去にはクラブの転籍は、特殊（転勤・転居等）な事例しかありませんでしたが、現在多数見受けられます、何か不思議な気が致します。会員として何か秩序ある分別を議論して下さい。

④ 地区ニュースのカバー（表紙）に会長の顔写真の掲載をPR委員会で検討して下さい。

理由 会長はクラブの代表として誇れるものです。

後方支援として掲載して戴くことは、会長の使命感を増幅し会員獲得へ、繋がるものと確信致します。

活性化推進委員会は7月4日委員会を開催する予定です。

2008年～2009年 大会参加委員会提案事項

委員会名 大会参加委員会
委員長 L 長島 眞

第49回OSEAL FORUM

開催地 香港

大会期間 2008年12月4日～7日

第92回国際大会

開催地 USAミネソタ州ミネアポリス

大会期間 2009年7月6日～10日

提案事項

①参加

各クラブ会長・幹事の参加

リジョンチェアパーソン・ゾーン・チェアパーソンの参加

②公式行事参加

インターナショナルパード 開会式 ガバナーを囲む会

代議員投票 閉会式

③各旅行会社から提出された内容・旅費を検討しメンバーが納得して大会に参加して頂く

これから委員会を重ねて大会参加委員会の指針検討する

第 1 回キャビネット会議提出案件

委員会名：国際協調・モンゴル支援委員会

委員長：L 関 真一郎

第 10 R・第 3 Z 東京田園調布 LC

報告事項

1.在日モンゴル人留学生会への支援

モンゴル祭り「ハワリンバヤル 2009」がゴールデンウィークに光が丘公園で開催されるので、地元ライオンズクラブへ働きかけ、交流を推進する。

2.海外クラブと姉妹提携について

国際本部などへ働きかけ、海外クラブから 3 3 0－A 地区への友好依頼があるかインターネットを用い調査し、依頼がある場合 3 3 0－A キャビネットホームページに掲載する。

第1回キャビネット会議提出案件

中間法人連携委員会
委員長 I家喜 凱雄

審議決議事項

- 1) 当委員会は、有限責任中間法人330-A地区支援会との連携を'08年7月1日当委員会委員長と330-A地区支援会代表理事 野崎 武氏と第1回連携会議を行なった。
議題は、預託金返還増に伴う諸問題であります。本来ならばキャビネットが使用している事務所はキャビネットが所有すべき物であって、中間法人330-A地区支援会が所有すべき物では、無いと思うがキャピネットは、法人格が無い為、購入する資格が無いので臨時処置として有限責任中間法人330-A地区支援会を設立したのであり本来なら全メンバーから預託金を預かるべきところ853名のみのメンバーから預かっているが平等では無いので個人分を早期の内に返済しなければならぬ。方法としてキャピネット会計の内部に積立方式で有限責任中間法人330-A地区支援会への預託金積立金として毎月20万円を当面実行したい。
- 2) 前期4月19日の年次大会で承認された愛の泉基金を有限責任中間法人330-A地区支援会に預託金として支出する時期方法を当委員会にて決めて行きたい。

(参考資料	個人預託金者	メンバー853名	¥45,542,222-
	クラブ預託数	181クラブ	¥37,060,000-
- 3) 各委員会に対する会員増強協力は、当委員会も各委員が具体案を提案し合い
会員増強に協力する方針です。

第一回キャビネット会議 提出案件

緊急対策・アラート委員長 L伊賀 則夫

岩手・宮城内陸地震（風評被害による） 観光地・温泉旅館&ホテルを支援する運動の推進

去る、6月14日早朝に起きた【岩手・宮城内陸地震】は、死傷者こそ少ないものでしたが、この地震の影響で、震源地付近以外でも旅行の予約キャンセルが相次ぎ、直接地震の影響がなかった両県内のホテル&旅館をはじめ、観光地は昨年比半分以下の売り上げと、今夏の予約状況だそうです。

緊急対策・アラート委員会としては、風評被害に遭っている両県内の施設を利用することで、勇気づけ、元気づける運動を展開していくべきと考えました。

両県の観光課に問い合わせをして状況を確認したところ、以下のようです。

岩手県 県内全域ですが、特に被害が大きいのは、一関市・奥州市 だそうです。

宮城県 県内全域ですが、特に被害が大きいのは、鳴子温泉 だそうです。

緊急対策・アラート委員会としては、第二回の委員会を8月2日～3日に岩手県一関市の矢びつ温泉「瑞泉閣」で開催し、現地視察を兼ねて、現地一関LCのメンバーの話を伺うことになっています。詳しくは、第二回のキャビネット会議で報告することになりますが、お盆休みを控えた今、これから旅行先を考えているメンバー各位に、是非両県内の施設をご利用頂き励まして頂きたい、ご提案申しあげるものです。

第1回キャビネット会議提出案件

役職名 女性参加・家族会員推進委員会 委員長

第1R 第3Z 東京みやこ LC

L名 河 合 悦 子

諮問事項に基づき委員会で検討の結果、本年度当委員会に於いて下記の活動計画を予定させて頂きましたので、提出いたします。

1. クラブ例会訪問の実施

A 地区に創設されて2年目を迎える委員会として認知度も低いこともあり、今年度は、委員会メンバーによる積極的なクラブ例会訪問を行う。女性会員・家族会員の現況をリサーチ、データの収集、意見交換等も含め、会員増強に繋がる資料を作成する。

2. 会員増強委員会との連携

会員増強委員会と密に連携をとりながら委員会活動を推進する。

3. 女性会員・家族会員推進のためのイベント開催

(タイトル・開催日時未定)